

我孫子市鳥の博物館調査研究報告第11巻：

硫黄島におけるヒメクロアジサシ *Anous minutus* の 繁殖初確認について

渡辺義昭¹ 時田賢一²

キーワード：硫黄島、繁殖、ヒメクロアジサシ

ヒメクロアジサシ *Anous minutus* は、日本国内においては硫黄列島、琉球諸島、南鳥島に記録があり（日本鳥学会 2000）、いずれも他のアジサシ類の中に混じって稀に認められている（Brazil, M.A. 1987, 1991）。筆者の一人、渡辺は、硫黄島に勤務する機会を得た折り、1999年10月13日から2000年8月9日までの間に見られた現地の鳥類相を記録し、それを調査研究報告 Vol.9 (2001) で報告した（時田・渡辺 2000）。その在島期間に、硫黄島(24° 47' N 141° 19' E)の北西約1.5kmに位置する監獄岩と称する岩礁に2000年2月11日と5月28日の2度上陸しヒメクロアジサシ(写真1)の繁殖を日本で初めて確認したので報告する。

監獄岩は、南北に約1km、幅約250mの安山岩質の溶岩で形成された岩礁である。中央部は平坦な砂地があり、そこにはグンバイヒルガオ *Ipomoea pes-caprae*、スナヅル *Cassytha filiformis* 等の草本が繁茂し、一部にクサトベラ *Scaevola sericea*、ハマゴウ *Vitex rotundifolia* などの灌木がわずかに見られた。

本岩礁で観察できた鳥類は、アナドリ *Bulweria bulwerii*、カツオドリ *Sula leucogaster*、ササゴイ *Butorides striatus*、セグロアジサシ *Sterna fuscata*、クロアジサシ *Anous stolidus*、ヒメクロアジサシ *Anous minutus*、イソヒヨドリ *Monticola solitarius* の7種で、このうち繁殖が観察できたのはセグロアジサシ、クロアジサシ、ヒメクロアジサシ、の3種であった。

2000年2月11日の上陸の際に、ヒメクロアジサシの営巣を確認した。ヒメクロアジサシの営巣は通常、樹上で行われることが知られている（清棲1950, del Hoyo et al. 1996）が、この

日確認したヒメクロアジサシの巣はいずれもクサトベラが生えている近くの溶岩の岩盤下や裂け目の奥にみられた。巣は枯草や落ち葉等を簡単に敷いて造られており（写真6,7）、観察した3巣全てに成鳥がいた。また、巣には各1卵が産み落とされており抱卵中であった。

5月28日の上陸では、クサトベラが生えている付近一帯で成長と若鳥が少なくとも50羽以上見られた。ヒメクロアジサシが飛び出した岩場の裂け目には巣は7巣、うち6巣には各1卵があった（写真3）。残る1巣には雛1羽（写真4）がいた。また、この日はクサトベラの枝上にも巣を4巣発見した（写真2,5）。この4巣のうち3巣に卵が各1卵あり、そのうち2巣にはヒメクロアジサシによって抱卵中であった（写真2）。残りの1巣は空であったが、周囲の状況からヒメクロアジサシのものと思われた。種の同定は（財）山階鳥類研究所標識研究室の尾崎清明氏、茂田良光氏の両氏にお願いした。

引用

- Brazil, M.A. 1987. A record of Black Noddy *Anous tenuirostris* from the Ogasawara Islands. Japanese J. Ornith. 36.2/3:99
- Brazil, M.A. 1991. The Birds of Japan. Christopher Helm, London.
- Del Hoyo, J., Elliott, A. & Sargant, J. (eds) 1996. Handbook of the Birds of the World. Vol. 3. Lynx Edicions.
- 清棲幸保. 1978. 増補改訂版日本鳥類大図鑑. 講談社. 東京.
- 時田賢一・渡辺義昭. 2001. 硫黄島鳥類目録

1 093-0333 北海道網走市駒場北4-5-5

2 270-1145 千葉県我孫子市高野山234-3 我孫子市鳥の博物館

(1999年10月 2000年8月).我孫子市鳥の博
物館調査研究報告9:35-45.

日本鳥学会.2000.日本産鳥類目録改訂6版.土
倉事務所.京都



写真1 クサトベラ上のヒメクロアジサシ



写真2 クサトベラ上で抱卵するヒメクロアジサシ



写真3 岩上のヒメクロアジサシと巣と卵



写真4 ヒメクロアジサシの雛



写真5 クサトベラ上の巣と卵



写真6 岩の裂け目の奥にあるヒメクロアジサシの巣と卵



写真7 岩の裂け目の奥にあるヒメクロアジサシの巣と卵

The First Breeding Record of Black Noddy *Anous minutus* in Iwo Jima Island.

Yoshiaki Watanabe¹ Ken-ichi Tokita²

KEY WORDS : Iwo Island, Breeding, Black Noddy

Nests, eggs and a nestling of Black Noddy were identified in a Kangokuiwa; a rocky reef along Iwo Jima Island (24° 47'N 141° 19'E) in Japan, on 11 February and 28 May 2000 respectively. These are the first authenticated record of breeding of this species in Japan. The nests were found in crevices of rocks, and also on bushes.

1 4-5-5 Komaba-kita, Abashiri, Hokkaido 093-0033, Japan

2 Abiko City Museum of Birds, 234-3 Kohonoyama, Chiba 270-1145, Japan